

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2022年6月10日まで（2007年8月14日設定）	
運用方針	主として証券投資信託であるモルガン・スタンレー新興国現地通貨建債券ファンドF（適格機関投資家専用）およびマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券への投資を通じて、新興国の債券に実質的な投資を行います。実質的な組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要運用対象	三菱UFJ新興国通貨建て債券ファンド（毎月決算型）	モルガン・スタンレー 新興国現地通貨建債券ファンドF（適格機関投資家専用）およびマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券を主要投資対象とします。
	モルガン・スタンレー 新興国現地通貨建債券ファンドF（適格機関投資家専用）	モルガン・スタンレー 新興国現地通貨建債券マザーファンド受益証券を通じて新興国の現地通貨建債券を主要投資対象とします。ただし、直接債券等に投資する場合があります。
	マネー・マーケット・マザーファンド	わが国の公社債等を主要投資対象とします。外貨建資産への投資は行いません。
主な組入制限	投資信託証券への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への直接投資は行いません。	
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定し、原則として配当等収益等を中心に安定した分配をめざします。ただし、毎年6月・12月の計算期末には、安定分配相当額のほか、分配対象額の範囲内で委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。なお、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。

※公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象です。

詳しくは販売会社にお問い合わせください。

三菱UFJ 新興国通貨建て債券ファンド（毎月決算型）

第81期（決算日：2014年7月10日）

第82期（決算日：2014年8月11日）

第83期（決算日：2014年9月10日）

第84期（決算日：2014年10月10日）

第85期（決算日：2014年11月10日）

第86期（決算日：2014年12月10日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、お手持ちの「三菱UFJ新興国通貨建て債券ファンド（毎月決算型）」は、去る12月10日に第86期の決算を行いましたので、法令に基づいて第81期～第86期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
URL:<http://www.am.mufig.jp/>

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

営業企画推進部
お客様専用フリーダイヤル

TEL. 0120-151034

(9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

お客様のお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

◆ 目 次

三菱UFJ 新興国通貨建て債券ファンド（毎月決算型）のご報告

◇最近30期の運用実績	1
◇当作成期中の基準価額と市況等の推移	2
◇運用経過	3
◇今後の運用方針	9
◇1万口当たりの費用明細	10
◇売買及び取引の状況	11
◇利害関係人との取引状況等	11
◇組入資産の明細	12
◇投資信託財産の構成	12
◇資産、負債、元本及び基準価額の状況	13
◇損益の状況	14
◇分配金のお知らせ	15
◇お知らせ	15

投資対象ファンドのご報告

◇モルガン・スタンレー 新興国現地通貨建債券ファンド F（適格機関投資家専用）	17
◇マネー・マーケット・マザーファンド	33

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近30期の運用実績

決算期	基準価額			（参考指数） J PモルガンGB I-E M グローバルダイバ シファイド(円換算ベース)		債券 組入比率	債券 先物比率	投資信託 比率	純資産 総額
	(分配落)	税金 分配	み 金 騰 落 率	期 騰 落 率	期 騰 落 率				
	円	円	%	%	%	%	%	%	百万円
57期(2012年7月10日)	5,782	40	2.6	23,140.78	2.9	0.2	—	99.2	11,749
58期(2012年8月10日)	5,892	40	2.6	23,724.73	2.5	0.2	—	99.6	11,802
59期(2012年9月10日)	5,864	40	0.2	23,753.32	0.1	0.2	—	99.2	11,590
60期(2012年10月10日)	5,814	40	△ 0.2	23,881.19	0.5	0.2	—	99.5	11,171
61期(2012年11月12日)	5,937	40	2.8	24,482.00	2.5	0.2	—	99.8	11,132
62期(2012年12月10日)	6,280	40	6.5	25,961.15	6.0	0.2	—	99.8	11,389
63期(2013年1月10日)	6,783	40	8.6	28,185.54	8.6	0.2	—	99.7	11,887
64期(2013年2月12日)	7,231	40	7.2	30,330.32	7.6	0.2	—	99.7	11,870
65期(2013年3月11日)	7,282	40	1.3	30,744.12	1.4	0.2	—	99.9	11,385
66期(2013年4月10日)	7,629	40	5.3	32,404.18	5.4	0.2	—	99.8	11,131
67期(2013年5月10日)	7,839	25	3.1	33,554.16	3.5	0.2	—	99.3	10,892
68期(2013年6月10日)	6,853	25	△12.3	30,010.01	△10.6	0.2	—	98.9	8,686
69期(2013年7月10日)	6,714	25	△ 1.7	29,699.86	△ 1.0	0.3	—	98.7	8,025
70期(2013年8月12日)	6,480	25	△ 3.1	28,817.09	△ 3.0	0.3	—	99.1	7,327
71期(2013年9月10日)	6,365	25	△ 1.4	28,471.30	△ 1.2	0.3	—	99.1	6,829
72期(2013年10月10日)	6,431	25	1.4	29,088.37	2.2	0.3	—	99.1	6,659
73期(2013年11月11日)	6,345	25	△ 0.9	29,055.22	△ 0.1	0.4	—	99.0	6,373
74期(2013年12月10日)	6,559	25	3.8	30,323.82	4.4	0.3	—	99.1	6,247
75期(2014年1月10日)	6,477	25	△ 0.9	30,097.14	△ 0.7	0.4	—	99.2	5,759
76期(2014年2月10日)	6,184	25	△ 4.1	28,932.56	△ 3.9	0.4	—	98.9	5,323
77期(2014年3月10日)	6,331	25	2.8	29,742.11	2.8	0.4	—	98.9	5,330
78期(2014年4月10日)	6,514	25	3.3	30,527.17	2.6	0.4	—	98.9	5,284
79期(2014年5月12日)	6,550	25	0.9	30,905.22	1.2	0.4	—	99.2	5,198
80期(2014年6月10日)	6,613	25	1.3	31,519.87	2.0	0.4	—	98.9	5,133
81期(2014年7月10日)	6,557	25	△ 0.5	31,427.89	△ 0.3	0.5	—	97.7	4,851
82期(2014年8月11日)	6,431	25	△ 1.5	30,842.97	△ 1.9	0.5	—	98.9	4,600
83期(2014年9月10日)	6,591	25	2.9	31,992.21	3.7	0.5	—	98.1	4,562
84期(2014年10月10日)	6,514	25	△ 0.8	31,833.66	△ 0.5	0.5	—	97.9	4,372
85期(2014年11月10日)	6,814	25	5.0	33,027.74	3.8	0.5	—	98.4	4,445
86期(2014年12月10日)	6,990	25	2.9	33,533.14	1.5	0.1	—	97.8	4,337

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) J PモルガンGB I-E M グローバルダイバシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。J PモルガンGB I-E M グローバルダイバシファイド(円換算ベース)とは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表しているJ PモルガンGB I-E M グローバルダイバシファイド(ドルベース)をもとに、委託会社が計算したものです。当指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み合わせるので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準 価 額		(参 考 指 数) JPモルガンGBI-EM グローバル ダイバーシファイド(円換算ベース)		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	投 資 信 託 証 比 率
		騰 落 率	騰 落 率					
第81期	(期 首) 2014年6月10日	円 6,613	% —	31,519.87	% —	% 0.4	% —	% 98.9
	6 月 末	6,527	△1.3	31,166.27	△ 1.1	0.5	—	99.4
	(期 末) 2014年7月10日	6,582	△0.5	31,427.89	△ 0.3	0.5	—	97.7
第82期	(期 首) 2014年7月10日	6,557	—	31,427.89	—	0.5	—	97.7
	7 月 末	6,584	0.4	31,537.51	0.3	0.4	—	99.2
	(期 末) 2014年8月11日	6,456	△1.5	30,842.97	△ 1.9	0.5	—	98.9
第83期	(期 首) 2014年8月11日	6,431	—	30,842.97	—	0.5	—	98.9
	8 月 末	6,558	2.0	31,658.34	2.6	0.5	—	98.1
	(期 末) 2014年9月10日	6,616	2.9	31,992.21	3.7	0.5	—	98.1
第84期	(期 首) 2014年9月10日	6,591	—	31,992.21	—	0.5	—	98.1
	9 月 末	6,528	△1.0	31,764.25	△ 0.7	0.5	—	98.1
	(期 末) 2014年10月10日	6,539	△0.8	31,833.66	△ 0.5	0.5	—	97.9
第85期	(期 首) 2014年10月10日	6,514	—	31,833.66	—	0.5	—	97.9
	10 月 末	6,695	2.8	32,480.21	2.0	0.5	—	98.3
	(期 末) 2014年11月10日	6,839	5.0	33,027.74	3.8	0.5	—	98.4
第86期	(期 首) 2014年11月10日	6,814	—	33,027.74	—	0.5	—	98.4
	11 月 末	7,165	5.2	34,717.41	5.1	0.1	—	98.1
	(期 末) 2014年12月10日	7,015	2.9	33,533.14	1.5	0.1	—	97.8

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

当作成期中の基準価額等の推移について

（第81期～第86期：2014/6/11～2014/12/10）

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ8.1%の上昇（分配金再投資ベース）となりました。



- ・ 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・ 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の主な変動要因

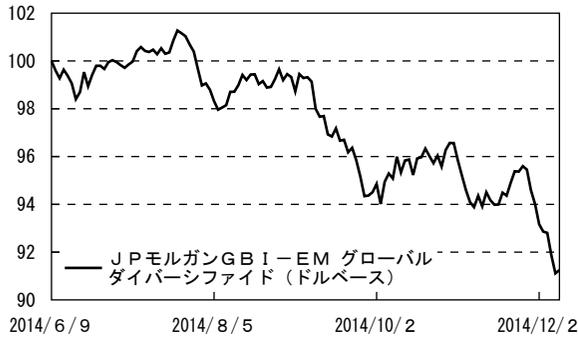
上昇要因

当作成期は、トルコなどの債券市況が上昇したことに加え、新興国通貨が対円で上昇したことなどから、基準価額は上昇しました。

投資環境について

（第81期～第86期：2014/6/11～2014/12/10）

債券市況の推移（当作成期首を100として指数化）

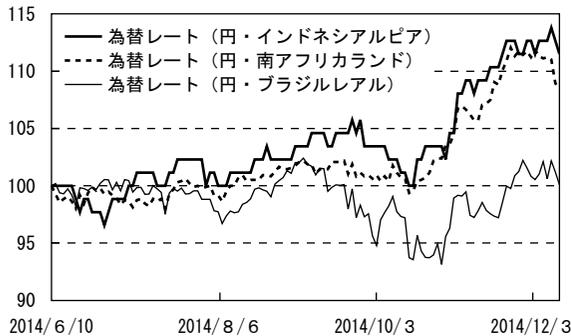


（注）現地日付ベースで記載しております。

◎債券市況

新興国通貨建て債券市況の代表的な指標であるJPモルガンGBI-EM グローバルダイバーシファイド（ドルベース）は、原油価格の下落などを背景に経常赤字縮小観測が高まった原油輸入国であるトルコなどの債券市況が上昇したものの、ウクライナ情勢などの地政学的リスクの高まりや原油価格の下落が嫌気された原油輸出国であるロシアなどの債券市況が下落したこと、新興国通貨が総じて対米ドルで下落したことなどが影響し、当作成期首に比べ8.8%下落しました。

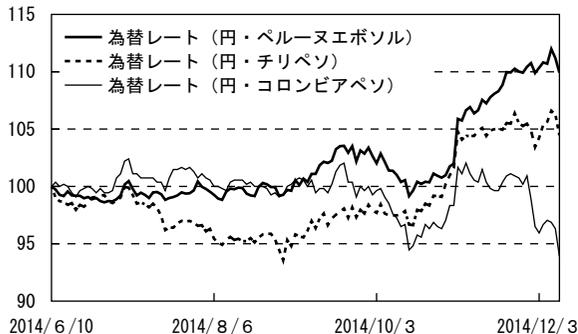
為替市況の推移（当作成期首を100として指数化）



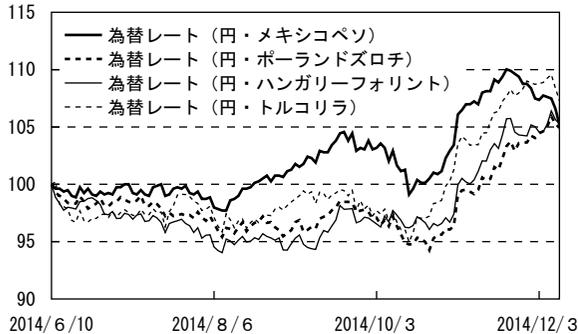
◎為替市況

為替市場では、米国の利上げ観測や資源価格の下落などを背景にリスク回避の動きが強まり、新興国通貨が対米ドルで下落しました。一方、日銀が追加金融緩和策を発表したことなどを背景に大幅な円安が進行したことなどが影響し、新興国通貨はコロンビアペソを除き、対円では上昇しました。また、米ドルは対円で16.6%上昇しました。

為替市況の推移（当作成期首を100として指数化）



為替市況の推移（当作成期首を100として指数化）



◎国内短期金融市場

- ・当作成期中の短期金融市場を見ると、日銀は「量的・質的金融緩和」をめざし、マネタリーベースを操作目標として金融市場調節を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）は安定的に推移し、2014年12月10日のコール・レートは0.067%となりました。なお、日銀は2014年10月31日にマネタリーベース増加額および資産買入れ額の拡大などの「量的・質的金融緩和」の拡大を決定しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

<三菱UFJ 新興国通貨建て債券ファンド（毎月決算型）>

- ・当ファンドは、投資信託証券であるモルガン・スタンレー 新興国現地通貨建債券ファンド F（適格機関投資家専用）への投資を通じて、新興国通貨建て債券を高位に組み入れるとともに、余裕資金を効率的に運用するため、マネー・マーケット・マザーファンド投資信託証券（以下、マザーファンド）を一部組み入れた運用を継続しました。

<モルガン・スタンレー 新興国現地通貨建債券ファンド F（適格機関投資家専用）>

- ・基準価額は当作成期首に比べ8.8%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

◎資産別組入比率の推移

安定した配当等収益の確保と投資信託財産の長期的な成長を図ることを目的として、モルガン・スタンレー 新興国現地通貨建債券マザーファンドを通じて、実質的に新興国10カ国の国債等（クレジット・リンク・ノートを含む）を高位に組み入れました。

◎国別配分戦略

当作成期では、バリュエーション（投資価値基準）面での判断からポーランドやトルコなどの債券を一部売却した一方、インドネシアの組入比率を引き上げました。引き続き、相対的に金利水準が高いことに加え、当局が過度な自国通貨安を抑制する姿勢を継続すると見ているブラジル、相対的に高い経済成長率に加え、2014年7月に実施された大統領選挙で経済改革に対する期待が高いジョコ・ウィドド氏が選出されたことで改革の進展が期待されるインドネシアなどを中心とする組み入れを維持しました。当作成期を通じて見ると、トルコやインドネシアの組み入れが基準価額に対してプラスに寄与しました。

◎金利戦略

新興国の中で相対的にインフレ圧力が抑制されているメキシコやコロンビアでは、相対的に投資妙味が高いと考える長期ゾーンの債券を中心とする運用を継続しました。当作成期を通じて見ると、コロンビアやメキシコでは長期金利が上昇し、基準価額に対してマイナスに影響しました。

<マネー・マーケット・マザーファンド>

- ・基準価額は当作成期首に比べ0.02%の上昇となりました。

コール・ローン等短期金融商品を活用しつつ、残存期間の短い国債を中心に組み入れ、利子等収益の確保を図りました。

（ご参考）

債券の格付分布

作成期首（2014年6月10日）

格付	比率	銘柄数
AAA格	0.0%	0
AA格	5.0%	1
A格	43.7%	5
BBB格	48.2%	6
BB格	0.0%	0
B格以下	0.0%	0
無格付	0.0%	0

- ・比率は純資産総額に対する割合です。
- ・格付は以下の3社の採用格付会社のうち、最も高い格付を採用しています。
 - ・スタンダード・アンド・プアーズ社（S&P）
 - ・ムーディーズ・インベスターズ・サービス社（Moody's）
 - ・フィッチ・レーティングス社（FitchRatings）
- ・格付を取得していない場合は、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・インクによる独自の格付を採用しています。

作成期末（2014年12月10日）

格付	比率	銘柄数
AAA格	0.0%	0
AA格	5.9%	1
A格	29.6%	4
BBB格	62.1%	6
BB格	0.0%	0
B格以下	0.0%	0
無格付	0.0%	0

- ・比率は純資産総額に対する割合です。
- ・格付は以下の3社の採用格付会社のうち、最も高い格付を採用しています。
 - ・スタンダード・アンド・プアーズ社（S&P）
 - ・ムーディーズ・インベスターズ・サービス社（Moody's）
 - ・フィッチ・レーティングス社（FitchRatings）
- ・格付を取得していない場合は、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・インクによる独自の格付を採用しています。

（ご参考）

利回り・デュレーション

作成期首（2014年6月10日）

最終利回り	6.7%
直接利回り	7.6%
デュレーション	4.2年

- ・最終利回りとは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
- ・直接利回りとは、個別債券等の価格に対する年間のクーポン収入の割合を加重平均したものです。
- ・デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。
- ・現地ベースで算出しています。

作成期末（2014年12月10日）

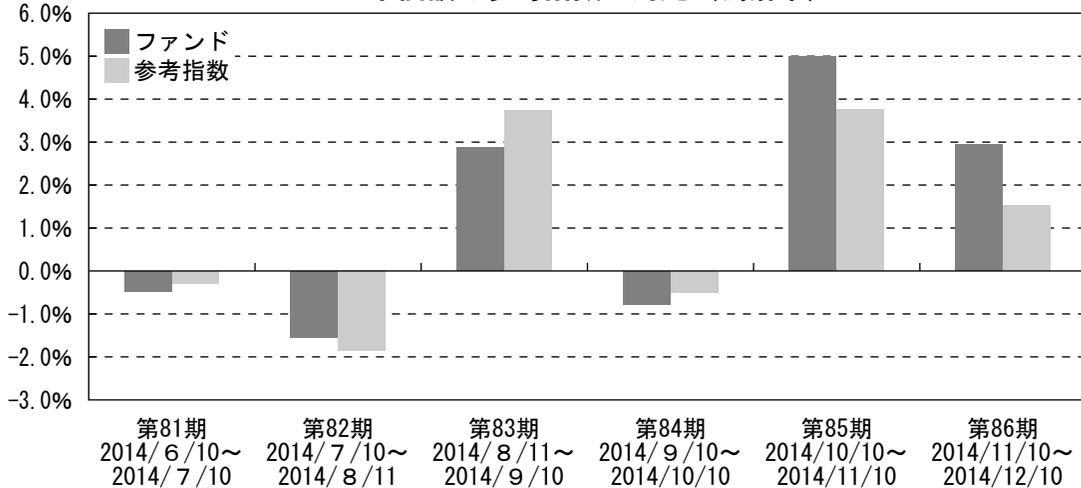
最終利回り	6.7%
直接利回り	7.8%
デュレーション	3.9年

- ・最終利回りとは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
- ・直接利回りとは、個別債券等の価格に対する年間のクーポン収入の割合を加重平均したものです。
- ・デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。
- ・現地ベースで算出しています。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

（第81期～第86期：2014/6/11～2014/12/10）

基準価額と参考指数の対比（騰落率）



- ・ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。
- ・当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。上記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。
- ・参考指数はJPモルガンGBI-EM グローバル ダイバーシファイド（円換算ベース）です。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第81期 2014年6月11日～ 2014年7月10日	第82期 2014年8月11日～ 2014年8月11日	第83期 2014年8月12日～ 2014年9月10日	第84期 2014年9月11日～ 2014年10月10日	第85期 2014年10月11日～ 2014年11月10日	第86期 2014年11月11日～ 2014年12月10日
当期分配金 （対基準価額比率）	25 0.380%	25 0.387%	25 0.378%	25 0.382%	25 0.366%	25 0.356%
当期の収益	25	25	25	25	25	25
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	280	286	299	309	320	339

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

<三菱UFJ 新興国通貨建て債券ファンド（毎月決算型）>

運用の基本方針にしたがって、引き続き投資信託証券への投資を通じて新興国通貨建て債券を高位に組み入れた運用を行うとともに、一部、マネー・マーケット・マザーファンド投資信託証券の組み入れを維持し、毎月の安定した分配をめざしていく方針です。

<モルガン・スタンレー 新興国現地通貨建債券ファンド F（適格機関投資家専用）>

（運用環境の見通し）

米国経済の回復基調が続いていること、日本や欧州で金融緩和策が継続していること、中国政府の景気刺激策などを背景に中国経済の急激な景気減速懸念が後退すると見ていることなどから、世界的には緩やかながら景気回復が持続すると考えています。米国ではFRB（米連邦準備制度理事会）が経済や金融市場の状況などを確認しながら緩やかなペースで利上げを実施すると予想される一方、欧州ではECB（欧州中央銀行）による緩和的な金融政策が長期化すると見えています。また、インフレが世界的に抑制されていることから、その他主要中央銀行が積極的な金融引き締めに転じる可能性は低いと判断しています。こうした環境下、現地通貨建て新興国債券市場は相対的に高利回りで、かつ割安と考えられることから、時間の経過とともに同市場への資金流入が回復すると見えています。ただし、米国の金融政策の動向や地政学的リスクの高まりなどによって投資家の新興国に対する選別姿勢がさらに強まり、構造改革を進めている国と経常収支や政治・財政基盤を含むファンダメンタルズが脆弱な国との間で債券・為替市況の動きに差が出てくる可能性がある点には注意が必要と考えています。

（今後の運用方針）

新興国の現地通貨建債券に投資し、安定した配当等収益の確保と信託財産の長期的な成長をめざします。

当ファンドは引き続き個別国の選別に注力し、ブラジル、インドネシア、トルコ、南アフリカなどを中心に組み入れる方針です。

<マネー・マーケット・マザーファンド>

（運用環境の見通し）

- ・国内景気は緩やかな回復局面に向かうものと思われませんが、デフレ脱却に向けて日銀は「量的・質的金融緩和策」を当面維持することが見込まれます。そうした環境下、短期金利は低位安定推移になると予想しています。

（今後の運用方針）

- ・運用の基本方針および前述の見通しに基づき、引き続き残存期間の短い国債を中心に投資し安定した収益の確保をめざしていく方針です。

○ 1万口当たりの費用明細

（2014年6月11日～2014年12月10日）

項 目	第81期～第86期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 32	% 0.476	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(9)	(0.123)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(22)	(0.332)	分配金・償還金・換金代金支払等の事務手続き、交付運用報告書等の送付、購入後の説明・情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(1)	(0.022)	投資信託財産の保管・管理、運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	0	0.002	(b) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	32	0.478	
期中の平均基準価額は、6,676円です。			

(注) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

（2014年6月11日～2014年12月10日）

投資信託証券

銘柄		第81期～第86期			
		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	モルガン・スタンレー 新興国現地通貨建て債券ファンド F (道徳機関投資家専用)	千口 —	千円 —	千口 1,591,476	千円 1,042,300

（注）金額は受渡代金。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄		第81期～第86期			
		設定		解約	
		口数	金額	口数	金額
	マネー・マーケット・マザーファンド	千口 —	千円 —	千口 19,640	千円 20,000

○利害関係人との取引状況等

（2014年6月11日～2014年12月10日）

利害関係人との取引状況

<三菱UFJ 新興国通貨建て債券ファンド（毎月決算型）>

区分	第81期～第86期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
投資信託証券	百万円 —	百万円 —	% —	百万円 1,042	百万円 1,042	% 100.0

<マネー・マーケット・マザーファンド>

区分	第81期～第86期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
公社債	百万円 4,100	百万円 1,099	% 26.8	百万円 —	百万円 —	% —
現先取引(公社債)	2,010	1,050	52.2	1,910	950	49.7

平均保有割合 0.8%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

（注）公社債には現先などによるものを含まません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ信託銀行、三菱UFJモルガン・スタンレー証券です。

○組入資産の明細

(2014年12月10日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	第80期末	第86期末		
		口数	口数	評価額	比率
		千口	千口	千円	%
モルガン・スタンレー	新興国現地通貨建債券ファンド F (適格機関投資家専用)	7,795,775	6,204,299	4,241,879	97.8
合	計	7,795,775	6,204,299	4,241,879	97.8

(注) 比率は三菱UFJ 新興国通貨建て債券ファンド（毎月決算型）の純資産総額に対する比率。

親投資信託残高

銘	柄	第80期末	第86期末	
		口数	口数	評価額
		千口	千口	千円
マネー・マーケット・マザーファンド		24,866	5,226	5,321

○投資信託財産の構成

(2014年12月10日現在)

項	目	第86期末	
		評価額	比率
		千円	%
投資信託受益証券		4,241,879	96.7
マネー・マーケット・マザーファンド		5,321	0.1
コール・ローン等、その他		139,305	3.2
投資信託財産総額		4,386,505	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第81期末	第82期末	第83期末	第84期末	第85期末	第86期末
	2014年7月10日現在	2014年8月11日現在	2014年9月10日現在	2014年10月10日現在	2014年11月10日現在	2014年12月10日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	4,916,956,725	4,635,317,070	4,623,352,659	4,397,207,166	4,528,011,743	4,386,505,380
コール・ローン等	151,035,041	50,813,095	123,431,238	91,725,825	89,863,535	111,304,145
投資信託受益証券(評価額)	4,740,604,662	4,549,187,101	4,474,601,952	4,280,161,932	4,374,828,798	4,241,879,304
マネー・マーケット・マザーファンド(評価額)	25,316,800	25,316,800	25,319,287	25,319,287	25,319,287	5,321,773
未収入金	—	10,000,000	—	—	38,000,000	28,000,000
未収利息	222	74	182	122	123	158
(B) 負債	65,811,803	34,352,224	60,687,860	24,694,764	82,220,422	49,000,830
未払収益分配金	18,494,815	17,884,758	17,307,015	16,781,492	16,311,320	15,512,231
未払解約金	43,431,387	12,513,583	39,752,480	4,401,064	62,352,311	29,985,153
未払信託報酬	3,872,411	3,940,461	3,616,048	3,500,284	3,544,715	3,491,554
その他未払費用	13,190	13,422	12,317	11,924	12,076	11,892
(C) 純資産総額(A-B)	4,851,144,922	4,600,964,846	4,562,664,799	4,372,512,402	4,445,791,321	4,337,504,550
元本	7,397,926,372	7,153,903,337	6,922,806,316	6,712,597,019	6,524,528,300	6,204,892,428
次期繰越損益金	△2,546,781,450	△2,552,938,491	△2,360,141,517	△2,340,084,617	△2,078,736,979	△1,867,387,878
(D) 受益権総口数	7,397,926.372口	7,153,903.337口	6,922,806.316口	6,712,597.019口	6,524,528.300口	6,204,892.428口
1万口当たり基準価額(C/D)	6.557円	6.431円	6.591円	6.514円	6.814円	6.990円

○損益の状況

項 目	第81期	第82期	第83期	第84期	第85期	第86期
	2014年6月11日～ 2014年7月10日	2014年7月11日～ 2014年8月11日	2014年8月12日～ 2014年9月10日	2014年9月11日～ 2014年10月10日	2014年10月11日～ 2014年11月10日	2014年11月11日～ 2014年12月10日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	27,018,006	25,965,637	26,872,231	26,807,378	24,195,886	27,422,583
受取配当金	27,016,356	25,963,138	26,870,146	26,804,129	24,192,936	27,418,802
受取利息	1,650	2,499	2,085	3,249	2,950	3,781
(B) 有価証券売買損益	△ 45,907,674	△ 94,434,137	104,282,212	△ 58,237,648	191,363,437	100,945,530
売買益	2,977,536	592,209	107,495,823	844,886	195,075,830	107,038,551
売買損	△ 48,885,210	△ 95,026,346	△ 3,213,611	△ 59,082,534	△ 3,712,393	△ 6,093,021
(C) 信託報酬等	△ 3,885,601	△ 3,953,883	△ 3,628,365	△ 3,512,208	△ 3,556,791	△ 3,503,446
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 22,775,269	△ 72,422,383	127,526,078	△ 34,942,478	212,002,532	124,864,667
(E) 前期繰越損益金	△ 1,399,314,048	△ 1,391,436,680	△ 1,432,386,144	△ 1,280,658,038	△ 1,293,739,696	△ 1,043,181,587
(F) 追加信託差損益金	△ 1,106,197,318	△ 1,071,194,670	△ 1,037,974,436	△ 1,007,702,609	△ 980,688,495	△ 933,558,727
(配当等相当額)	(27,767,307)	(27,036,852)	(26,331,938)	(25,702,890)	(25,151,349)	(24,077,728)
(売買損益相当額)	(△ 1,133,964,625)	(△ 1,098,231,522)	(△ 1,064,306,374)	(△ 1,033,405,499)	(△ 1,005,839,844)	(△ 957,636,455)
(G) 計(D+E+F)	△ 2,528,286,635	△ 2,535,053,733	△ 2,342,834,502	△ 2,323,303,125	△ 2,062,425,659	△ 1,851,875,647
(H) 収益分配金	△ 18,494,815	△ 17,884,758	△ 17,307,015	△ 16,781,492	△ 16,311,320	△ 15,512,231
次期繰越損益金(G+H)	△ 2,546,781,450	△ 2,552,938,491	△ 2,360,141,517	△ 2,340,084,617	△ 2,078,736,979	△ 1,867,387,878
追加信託差損益金	△ 1,106,197,318	△ 1,071,194,670	△ 1,037,974,436	△ 1,007,702,609	△ 980,688,495	△ 933,558,727
(配当等相当額)	(27,767,307)	(27,036,852)	(26,331,938)	(25,702,890)	(25,151,349)	(24,077,728)
(売買損益相当額)	(△ 1,133,964,625)	(△ 1,098,231,522)	(△ 1,064,306,374)	(△ 1,033,405,499)	(△ 1,005,839,844)	(△ 957,636,455)
分配準備積立金	179,853,854	178,008,336	181,003,190	181,968,204	184,264,314	186,371,594
繰越損益金	△ 1,620,437,986	△ 1,659,752,157	△ 1,503,170,271	△ 1,514,350,212	△ 1,282,312,798	△ 1,120,200,745

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ①作成期首（前作成期末）元本額 7,762,517,978円
 作成期中追加設定元本額 41,016,277円
 作成期中一部解約元本額 1,598,641,827円
- ②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は1,867,387,878円です。
- ③分配金の計算過程

		第81期	第82期	第83期	第84期	第85期	第86期
費用控除後の配当等収益額	A	23,133,347円	22,012,680円	26,129,538円	23,295,928円	23,797,340円	26,674,595円
費用控除後・繰越欠損金補填後の 有価証券売買等損益額	B	－円	－円	－円	－円	－円	－円
収益調整金額	C	27,767,307円	27,036,852円	26,331,938円	25,702,890円	25,151,349円	24,077,728円
分配準備積立金額	D	175,215,322円	173,880,414円	172,180,667円	175,453,768円	176,778,294円	175,209,230円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	226,115,976円	222,929,946円	224,642,143円	224,452,586円	225,726,983円	225,961,553円
当ファンドの期末残存口数	F	7,397,926,372口	7,153,903,337口	6,922,806,316口	6,712,597,019口	6,524,528,300口	6,204,892,428口
1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	305円	311円	324円	334円	345円	364円
1万口当たり分配金額	H	25円	25円	25円	25円	25円	25円
収益分配金額	I=F*H/10,000	18,494,815円	17,884,758円	17,307,015円	16,781,492円	16,311,320円	15,512,231円

○分配金のお知らせ

	第81期	第82期	第83期	第84期	第85期	第86期
1万円当たり分配金（税込み）	25円	25円	25円	25円	25円	25円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※2014年1月1日より、少額投資非課税制度「愛称：NISA（ニーサ）」がご利用になれます。NISAをご利用の場合、毎年、年間100万円の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が5年間非課税となります。

*三菱UFJ投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<http://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

【お知らせ】

①運用報告書の二段階化について信託約款に記載し、所要の変更を行いました。

（2014年12月1日）

②2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2014年12月10日現在）

<マネー・マーケット・マザーファンド>

下記は、マネー・マーケット・マザーファンド全体(2,346,699千口)の内容です。

国内公社債

(A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	第86期末						
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	2,100,000 (1,450,000)	2,100,374 (1,450,029)	87.9 (60.7)	— (—)	— (—)	— (—)	87.9 (60.7)
合 計	2,100,000 (1,450,000)	2,100,374 (1,450,029)	87.9 (60.7)	— (—)	— (—)	— (—)	87.9 (60.7)

(注) ()内は非上場債で内書き。

(注) 組入比率は、親投資信託の純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) 現先の組み入れがある場合、現先は国債証券に含めて記載。

(B) 国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘	柄	第86期末			
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
		%	千円	千円	
国債証券					
第479回国庫短期証券		—	150,000	149,999	2014/12/15
第481回国庫短期証券		—	200,000	199,999	2014/12/22
第482回国庫短期証券		—	100,000	100,000	2015/1/8
第490回国庫短期証券		—	100,000	100,001	2015/2/9
第491回国庫短期証券※		—	100,000	100,009	—
第492回国庫短期証券		—	100,000	100,001	2015/2/16
第493回国庫短期証券		—	200,000	200,004	2015/2/23
第496回国庫短期証券		—	300,000	300,008	2015/3/9
第497回国庫短期証券		—	200,000	200,003	2015/3/16
第326回利付国債（2年）		0.1	200,000	200,052	2015/3/15
第327回利付国債（2年）		0.1	100,000	100,035	2015/4/15
第331回利付国債（2年）		0.1	200,000	200,140	2015/8/15
第332回利付国債（2年）		0.1	150,000	150,118	2015/9/15
小 計			2,100,000	2,100,374	
合 計			2,100,000	2,100,374	

(注) ※印は現先で保有している債券です。

モルガン・スタンレー 新興国現地通貨建債券ファンド F (適格機関投資家専用)

《第81期》決算日	2014年6月9日
《第82期》決算日	2014年7月7日
《第83期》決算日	2014年8月7日
《第84期》決算日	2014年9月8日
《第85期》決算日	2014年10月7日
《第86期》決算日	2014年11月7日

[計算期間：2014年5月8日～2014年11月7日]

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	原則無期限	
運用方針	主として新興国の現地通貨建債券に投資し、安定した配当等収益の確保と投資信託財産の長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。	
主要運用対象	ベビーファンド	モルガン・スタンレー 新興国現地通貨建債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。ただし、直接債券等に投資する場合もあります。
	マザーファンド	新興国の現地通貨建債券を主要投資対象とします。
組入制限	ベビーファンド	マザーファンド受益証券への投資割合には制限を設けません。株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への実質投資割合は、投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。株式への実質投資は、新株予約権付社債等の権利行使等により取得した株券等に限り、外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合は投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。株式への投資は新株予約権付社債等の権利行使等により取得した株券等に限り、外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	原則として、毎決算時（毎月7日。ただし決算日が休業日の場合は翌営業日）に、配当等収益を中心に繰越分を含めた利子・配当収益と売買益（評価益を含みます。）等から、基準価額の水準および分配原資の水準等を考慮して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額等の場合は、委託者の判断により分配を行わない場合もあります。収益の分配にあてなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。	

運用会社：モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント株式会社

最近5作成期の運用実績

作成期	基準価額 (分配落)			参考指数 期中騰落率	債券 組入比率	債券 先物比率	純資産 総額		
	円	税込 分配金	期中 騰落率						
第11作成期	57期 (2012年6月7日)	5,641	45	△ 5.5	22,426.14	△5.8	97.0	—	11,473
	58期 (2012年7月9日)	5,814	45	3.9	23,141.92	3.2	96.6	—	11,640
	59期 (2012年8月7日)	5,929	45	2.8	23,684.59	2.3	97.7	—	11,767
	60期 (2012年9月7日)	5,895	45	0.2	23,758.18	0.3	97.8	—	11,478
	61期 (2012年10月9日)	5,870	45	0.3	23,889.02	0.6	97.7	—	11,156
	62期 (2012年11月7日)	6,052	45	3.9	24,737.61	3.6	98.1	—	11,285
第12作成期	63期 (2012年12月7日)	6,305	45	4.9	25,938.07	4.9	95.9	—	11,327
	64期 (2013年1月7日)	6,784	45	8.3	27,987.32	7.9	96.5	—	11,842
	65期 (2013年2月7日)	7,238	45	7.4	30,121.10	7.6	98.3	—	11,813
	66期 (2013年3月7日)	7,168	45	△ 0.3	30,108.89	△0.0	98.3	—	11,149
	67期 (2013年4月8日)	7,537	45	5.8	31,780.83	5.6	98.0	—	10,917
	68期 (2013年5月7日)	7,675	74	2.8	32,686.73	2.9	98.0	—	10,575
第13作成期	69期 (2013年6月7日)	6,852	47	△10.1	29,827.23	△8.7	97.5	—	8,604
	70期 (2013年7月8日)	6,662	38	△ 2.2	29,611.13	△0.7	96.1	—	7,866
	71期 (2013年8月7日)	6,495	37	△ 2.0	28,927.61	△2.3	98.3	—	7,334
	72期 (2013年9月9日)	6,264	40	△ 2.9	28,163.78	△2.6	96.2	—	6,687
	73期 (2013年10月7日)	6,364	34	2.1	29,078.63	3.2	98.9	—	6,588
	74期 (2013年11月7日)	6,340	40	0.3	29,325.22	0.8	97.5	—	6,361
第14作成期	75期 (2013年12月9日)	6,476	39	2.8	30,103.45	2.7	97.1	—	6,166
	76期 (2014年1月7日)	6,396	42	△ 0.6	29,998.35	△0.3	96.8	—	5,706
	77期 (2014年2月7日)	6,084	34	△ 4.3	28,850.28	△3.8	98.2	—	5,261
	78期 (2014年3月7日)	6,299	35	4.1	29,939.60	3.8	97.9	—	5,310
	79期 (2014年4月7日)	6,414	43	2.5	30,634.40	2.3	97.8	—	5,218
	80期 (2014年5月7日)	6,387	40	0.2	30,566.66	△0.2	93.7	—	5,097
第15作成期	81期 (2014年6月9日)	6,517	39	2.6	31,608.89	3.4	96.8	—	5,089
	82期 (2014年7月7日)	6,444	37	△ 0.6	31,394.61	△0.7	98.2	—	4,736
	83期 (2014年8月7日)	6,287	36	△ 1.9	30,790.05	△1.9	97.6	—	4,536
	84期 (2014年9月8日)	6,505	39	4.1	32,109.09	4.3	97.5	—	4,499
	85期 (2014年10月7日)	6,405	40	△ 0.9	31,819.30	△0.9	97.8	—	4,295
	86期 (2014年11月7日)	6,692	37	5.1	33,305.15	4.7	98.1	—	4,397

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 債券先物比率は買建比率-売建比率。

(注4) 参考指数としてJPMorgan GBI-EM グローバル ダイバーシファイドを使用しています。基準日前営業日の米ドル建て指数を基準日の対顧客電信売買相場仲値を用いて当社が独自に円換算しています。
JPMorgan GBI-EM グローバル ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。

過去6ヶ月間の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準価額		参考指数		債券組入比率	債券先物比率
		円	騰落率		騰落率		
第81期	(期首) 2014年5月7日	6,387	—	30,566.66	—	93.7	—
	5月末	6,483	1.5	31,102.47	1.8	97.3	—
	(期末) 2014年6月9日	6,556	2.6	31,608.89	3.4	96.8	—
第82期	(期首) 2014年6月9日	6,517	—	31,608.89	—	96.8	—
	6月末	6,430	△1.3	31,166.27	△1.4	96.7	—
	(期末) 2014年7月7日	6,481	△0.6	31,394.61	△0.7	98.2	—
第83期	(期首) 2014年7月7日	6,444	—	31,394.61	—	98.2	—
	7月末	6,480	0.6	31,537.51	0.5	97.2	—
	(期末) 2014年8月7日	6,323	△1.9	30,790.05	△1.9	97.6	—
第84期	(期首) 2014年8月7日	6,287	—	30,790.05	—	97.6	—
	8月末	6,447	2.5	31,658.34	2.8	97.3	—
	(期末) 2014年9月8日	6,544	4.1	32,109.09	4.3	97.5	—
第85期	(期首) 2014年9月8日	6,505	—	32,109.09	—	97.5	—
	9月末	6,409	△1.5	31,764.25	△1.1	98.3	—
	(期末) 2014年10月7日	6,445	△0.9	31,819.30	△0.9	97.8	—
第86期	(期首) 2014年10月7日	6,405	—	31,819.30	—	97.8	—
	10月末	6,566	2.5	32,480.21	2.1	97.6	—
	(期末) 2014年11月7日	6,729	5.1	33,305.15	4.7	98.1	—

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

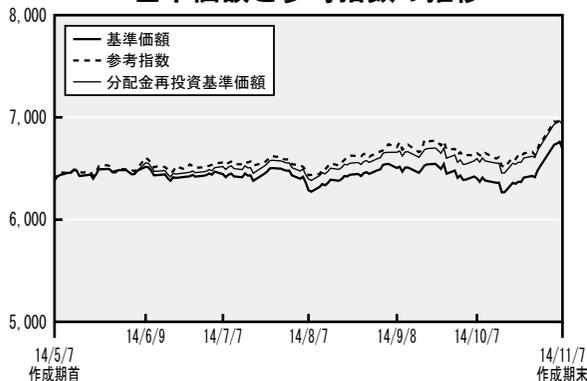
(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注4) 参考指数としてJPMorgan GBI-EM グローバル ダイバーシファイドを使用しています。基準日前営業日の米ドル建て指数を基準日の対顧客電信売買相場仲値を用いて当社が独自に円換算しています。

当作成期の運用経過と今後の運用方針

基準価額と参考指数の推移



(注1) 参考指数は作成期首の値を基準価額と同値にして指数化しております。

(注2) 参考指数としてJPモルガン GBI-EEM グローバル・ダイバーシファイドを使用しています。基準日前営業日の米ドル建て指数を基準日の対顧客電信売買相場仲値を用いて当社が独自に円換算しています。

○新興国通貨は米ドルに対して下落

- ・米国において量的緩和政策が段階的に縮小される中、特に9月以降、2015年の利上げ開始が強く意識されたことで米ドル高が進行したため、新興国通貨は対米ドルで $\Delta 8.7\%$ の下落となりました。JPモルガン GBI-EEM グローバル・ダイバーシファイド(米ドルベース)は、新興国債券市場(現地通貨ベース)が上昇したものの、通貨が下落したことが背景となり、期首比 $\Delta 4.5\%$ となりました。

○米ドル/円は上昇

- ・米ドル/円は、当初は1米ドル=102円前後の比較的狭いレンジでの推移が続いていましたが、8月中旬に公表されたFOMC(米連邦公開市場委員会)議事録において労働市場の改善が予想以上に進展した場合、利上げ開始時期が前倒しされる可能性が示唆されたことや、9月上旬以降はFRB(連邦準備制度理事会)高官等の発言を受けて、これまで以上に2015年の利上げ開始が意識されたこと、10月末に日本銀行が予想外の追加金融緩和を決定したことを背景に、大幅な円安米ドル高となりました。当該期間通期では、米ドルの対円でのリターンは $+12.5\%$ (円安)となり、新興国通貨の対円でのリターンは $+3.2\%$ (円安)となりました。

◆資産別組入比率の推移

- ・安定した配当等収益の確保と投資信託財産の長期的な成長を図ることを目的として、新興国10カ国の国債など(クレジット・リンク・ノートを含む)を高位に組み入れました。

◆基準価額の推移

基準価額は期首比 8.5% (分配金再投資ベース)の上昇となりました。

◆基準価額の変動要因

○新興国現地通貨建て債券(現地通貨ベース)の高水準なインカム収入

- ・ウクライナや中東情勢など地政学的リスクへの懸念が高まる局面では不安定な推移となったものの、米国において量的緩和政策が段階的に縮小され、2015年の利上げ開始が意識される一方で、景気の下振れリスクに対して一部の新興国が利下げを行ったことや、ECB(欧州中央銀行)や日本銀行による緩和的な金融政策の長期化等を背景に、新興国現地通貨建て債券は概ね上昇傾向で推移しました。代表的市場インデックスであるJPモルガン GBI-EEM グローバル・ダイバーシファイド(現地通貨ベース)の当該期間のリターンは $+4.6\%$ となりました。

◆ 国別配分戦略

- ・ 欧州・中東・アフリカ地域では、①財政状況が比較的健全で、インカム・ゲインが高いトルコ、②経常収支が改善傾向にあり、直接投資等による資金フローが堅調なポーランド、③市場において引き締め気味の金融政策が継続されると期待されていることが、通貨のサポート要因として考えられる南アフリカなどへの投資を継続しました。
- ・ 中南米地域では、①最大貿易相手国である米国景気の改善傾向に加え、構造改革の進展が期待されるメキシコ、②相対的に利回りが高いことに加え、当局の為替政策によって通貨のボラティリティが抑制されると期待されたブラジルなどへの投資を継続しました。③また、国内景気が堅調で、直接投資などの資本流入が続いており、利上げ期待が高かったコロンビアへの投資を新たに行いました。
- ・ アジアでは、新政権による構造改革の進展の可能性が期待されていることに加え、低い公的債務比率、高い経済成長率、潤沢な外貨準備高などを背景に投資適格級の格付けを取得しているインドネシアに引き続き投資しております。

◆ 金利戦略

- ・ イールドカーブが概ねスティープな状態にある一方で、インフレ圧力が比較的抑制されていることを背景に、メキシコなどについては、リスク・プレミアムの観点から魅力的である長期債セクターを中心に投資しました。

◆ 今後の運用方針

◆ 運用環境の見通し

- ・ グローバル経済については、緩やかな景気回復が持続しています。特に米国においては、失業率の低下など労働市場の緩やかな改善が継続しており、経済に対する見通しは比較的明るく、景気回復が継続すると考えています。
- ・ 新興国については、中間層、富裕層の拡大を通じた消費市場の成長が見込めることから、相対的に高い経済成長の継続が期待されます。一方、投資家の新興国に対する選別姿勢が強まる中、経常収支などの経済ファンダメンタルズの脆弱な国や、財政基盤の脆弱な国、政治基盤が不安定な国のボラティリティが高まるリスクなどには注視が必要です。
- ・ 金融政策に関しては、米国においてFRBは先進国の中では比較的早い段階で利上げに転換すると思われる一方で、特に日本銀行やECBによる緩和的な金融政策の長期化が見込まれており、世界的にインフレリスクが抑制されていることから、主要中央銀行が積極的な金融引き締めへ転換する可能性は低いと考えられます。
- ・ このような環境下、現地通貨建て新興国債券市場については、経済ファンダメンタルズを反映する形で回復が継続すると考えられ、引き続き割安な投資対象であると考えています。

◆ 今後の運用方針

- ・ 新興国の現地通貨建て債券に投資し、安定した配当収益等の確保と長期的な成長をめざします。

上記は将来の市況環境の変動等を保証するものではなく、このため、将来の投資成果等を保証するものではありません。

1万口 (元本10,000円) 当たりの費用の明細

項 目	第81期～第86期
(a) 信託報酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 銀 行)	29円 (28) (0) (1)
(b) 保管費用等	7
合 計	36

(注1) 作成中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

(a) 信託報酬=作成中の平均基準価額×信託報酬率

(b) 保管費用等は、作成中の各金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 保管費用等は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

(2014年5月8日から2014年11月7日まで)

設定、解約状況

決 算 期	第 8 1 期 ~ 第 8 6 期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
モルガン・スタンレー 新興国現地通貨建債券マザーファンド	千口 —	千円 —	千口 842,620	千円 1,078,629

(注) 単位未満は切捨て。

主要な売買銘柄

(2014年5月8日から2014年11月7日まで)

モルガン・スタンレー 新興国現地通貨建債券マザーファンドにおける公社債の売買

第 8 1 期 ~ 第 8 6 期	
買 付	売 付
銘 柄	銘 柄
金 額	金 額
千円 COLOMBIA 4.375% 23/3/21(コロンビア)	千円 TURKEY 10.5% 20/1/15(トルコ)
—	BRAZIL 10% 17/1/1(ブラジル)
—	MEXICO 7.5% 27/6/3(メキシコ)
—	POLAND 5.5% 19/10/25(ポーランド)
—	SOUTH AFRICA 7.25% 20/1/15(南アフリカ)
—	PERU 8.6% 17/8/12(ペルー)
—	CHILE 5.5% 20/8/5(チリ)
—	HUNGARY 5.5% 16/2/12(ハンガリー)
—	RUSSIA 8.15% 27/2/3(ロシア)

(注1) 金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

利害関係人との取引状況等

(2014年5月8日から2014年11月7日まで)

作成期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細

(2014年11月7日現在)

親投資信託残高

種 類	第 14 作 成 期 末		第 15 作 成 期 末	
	口 数	口 数	口 数	評 価 額
モルガン・スタンレー 新興国現地通貨建債券マザーファンド	千口 4,098,263	千口 3,255,642	千口 4,418,884	千円

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

投資信託財産の構成

2014年11月7日現在

項 目	第 15 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
モルガン・スタンレー 新興国現地通貨建債券マザーファンド	千円 4,418,884	% 99.1
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	39,714	0.9
投 資 信 託 財 産 総 額	4,458,598	100.0

(注1) モルガン・スタンレー 新興国現地通貨建債券マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産(4,458,331千円)の投資信託財産総額(4,458,576千円)に対する比率は100.0%です。

(注2) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2014年11月7日における邦貨換算レートは、1米ドル=115.06円、1メキシコペソ=8.43円、1ブラジルレアル=44.79円、100チリペソ=19.46円、100コロンビアペソ=5.48円、1ペルーヌエボソル=39.27円、1トルコリラ=50.77円、100ハンガリーフォリント=45.99円、1ポーランドズロチ=33.74円、100インドネシアルピア=0.95円、1南アフリカランド=10.23円です。

資産、負債、元本および基準価額の状況

項 目	第 81 期末 2014/6/9 現在	第 82 期末 2014/7/7 現在	第 83 期末 2014/8/7 現在	第 84 期末 2014/9/8 現在	第 85 期末 2014/10/7 現在	第 86 期末 2014/11/7 現在
(A) 資 産	5,124,205,737円	4,892,814,797円	4,578,042,240円	4,530,411,459円	4,332,579,516円	4,458,598,472円
コール・ローン等	27,073	18,807	750,163	70,234	62,606	54,319
モルガン・スタンレー 新興国現地通貨建債券 マザーファンド(評価額)	5,089,508,664	4,841,405,991	4,536,342,078	4,499,711,225	4,295,486,911	4,418,884,155
未 収 入 金	34,670,000	51,389,999	40,949,999	30,630,000	37,029,999	39,659,998
(B) 負 債	34,678,266	156,658,643	41,629,928	30,637,628	37,038,286	60,666,567
未 払 収 益 分 配 金	30,457,432	27,194,166	25,974,507	26,976,267	26,826,461	24,316,394
未 払 解 約 金	—	125,999,998	11,999,999	—	6,999,999	32,999,998
未 払 信 託 報 酬	4,082,547	3,350,974	3,535,661	3,541,403	3,106,598	3,232,249
その他未払費用	138,287	113,505	119,761	119,958	105,228	117,926
(C) 純資産総額(A-B)	5,089,527,471	4,736,156,154	4,536,412,312	4,499,773,831	4,295,541,230	4,397,931,905
元 本	7,809,598,030	7,349,774,670	7,215,141,005	6,916,991,733	6,706,615,376	6,571,998,585
次 期 繰 越 損 益 金	△2,720,070,559	△2,613,618,516	△2,678,728,693	△2,417,217,902	△2,411,074,146	△2,174,066,680
(D) 受 益 権 総 口 数	7,809,598,030口	7,349,774,670口	7,215,141,005口	6,916,991,733口	6,706,615,376口	6,571,998,585口
1万口当たり基準価額(C/D)	6,517円	6,444円	6,287円	6,505円	6,405円	6,692円

損益の状況

項 目	第 81 期 2014/5/8~2014/6/9	第 82 期 2014/6/10~2014/7/7	第 83 期 2014/7/8~2014/8/7	第 84 期 2014/8/8~2014/9/8	第 85 期 2014/9/9~2014/10/7	第 86 期 2014/10/8~2014/11/7
(A) 配 当 等 収 益	-円	-円	1円	-円	-円	-円
受 取 利 息	—	—	1	—	—	—
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	136,254,616	△ 23,238,814	△ 83,394,948	181,440,778	△ 37,413,744	216,262,565
売 買 益	137,610,687	3,254,437	447,581	186,113,212	717,812	218,402,844
売 買 損	△ 1,356,071	△ 26,493,251	△ 83,842,529	△ 4,672,434	△ 38,131,556	△ 2,140,279
(C) 信 託 報 酬 等	△ 4,220,834	△ 3,464,479	△ 3,655,422	△ 3,661,361	△ 3,211,826	△ 3,350,175
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	132,033,782	△ 26,703,293	△ 87,050,369	177,779,417	△ 40,625,570	212,912,390
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△1,622,625,467	△1,431,296,954	△1,457,949,980	△1,506,044,516	△1,313,945,247	△1,353,653,816
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△1,199,021,442	△1,128,424,103	△1,107,753,837	△1,061,976,536	△1,029,676,868	△1,009,008,860
(配当等相当額)	(4,420)	(4,159)	(4,083)	(3,915)	(3,796)	(3,721)
(売買損益相当額)	(△1,199,025,862)	(△1,128,428,262)	(△1,107,757,920)	(△1,061,980,451)	(△1,029,680,664)	(△1,009,012,581)
(G) 計 (D+E+F)	△2,689,613,127	△2,586,424,350	△2,652,754,186	△2,390,241,635	△2,384,247,685	△2,149,750,286
(H) 収 益 分 配 金	△ 30,457,432	△ 27,194,166	△ 25,974,507	△ 26,976,267	△ 26,826,461	△ 24,316,394
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△2,720,070,559	△2,613,618,516	△2,678,728,693	△2,417,217,902	△2,411,074,146	△2,174,066,680
追 加 信 託 差 損 益 金	△1,199,021,442	△1,128,424,103	△1,107,753,837	△1,061,976,536	△1,029,676,868	△1,009,008,860
(配当等相当額)	(4,420)	(4,159)	(4,083)	(3,915)	(3,796)	(3,721)
(売買損益相当額)	(△1,199,025,862)	(△1,128,428,262)	(△1,107,757,920)	(△1,061,980,451)	(△1,029,680,664)	(△1,009,012,581)
分 配 準 備 積 立 金	3,754,184	538,085	1,113,872	4,066,141	695,647	3,900,208
繰 越 損 益 金	△1,524,803,301	△1,485,732,498	△1,572,088,728	△1,359,307,507	△1,382,092,925	△1,168,958,028

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等は信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金は、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項 (運用報告書作成時には監査未了)>

(貸借対照表関係)

- ①作成期首元本額 7,981,271,531円
 作成期中追加設定元本額 -円
 作成期中一部解約元本額 1,409,272,946円

②元本の欠損

貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っており、その差額は2,174,066,680円 (第86期末) であります。

③分配金の計算過程

		第81期	第82期	第83期	第84期	第85期	第86期
費用控除後の配当等収益額	A	33,613,735円	24,004,995円	26,521,235円	29,963,874円	23,502,740円	27,519,309円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	-円	-円	-円	-円	-円	-円
収益調整金額	C	4,420円	4,159円	4,083円	3,915円	3,796円	3,721円
分配準備積立金額	D	597,881円	3,727,256円	567,144円	1,078,534円	4,019,368円	697,293円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	34,216,036円	27,736,410円	27,092,462円	31,046,323円	27,525,904円	28,220,323円
当ファンドの期末残存口数	F	7,809,598,030口	7,349,774,670口	7,215,141,005口	6,916,991,733口	6,706,615,376口	6,571,998,585口
1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	43円	37円	37円	44円	41円	42円
1万口当たり分配金額	H	39円	37円	36円	39円	40円	37円
収益分配金金額	I=F*H/10,000	30,457,432円	27,194,166円	25,974,507円	26,976,267円	26,826,461円	24,316,394円

(注) 配当等収益には、当ファンドに帰属すべきマザーファンドの配当等収益を含んでおります。

分配金のお知らせ

◆ 収益分配金および分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税引前)

	第81期	第82期	第83期	第84期	第85期	第86期
当期分配金	39	37	36	39	40	37
当期の収益	39	32	36	39	35	37
当期の収益以外	-	4	-	-	4	-
翌期繰越分配対象額	4	0	1	5	1	5

- ◆ 「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数以下切捨てで算出しているため合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。
- ◆ 分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により普通分配金と元本払戻金 (特別分配金) にわかれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が元本払戻金 (特別分配金)、残りの部分が普通分配金になります。
- ◆ 元本払戻金 (特別分配金) が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金 (特別分配金) を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

モルガン・スタンレー 新興国現地通貨建債券マザーファンド

《第8期》決算日2014年11月7日

[計算期間：2013年11月8日～2014年11月7日]

当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		参 考 指 数		債 券 組入比率	債 券 先物比率
	円	騰 落 率		騰 落 率		
(期 首) 2013年11月7日	11,861	% —	29,325.22	% —	% 97.1	% —
11月末	12,147	2.4	29,916.68	2.0	96.9	—
12月末	12,362	4.2	30,611.58	4.4	95.4	—
2014年1月末	11,527	△ 2.8	28,655.66	△ 2.3	97.5	—
2月末	11,856	△ 0.0	29,183.89	△ 0.5	97.7	—
3月末	12,261	3.4	30,194.98	3.0	98.3	—
4月末	12,400	4.5	30,546.59	4.2	97.5	—
5月末	12,647	6.6	31,102.47	6.1	97.3	—
6月末	12,629	6.5	31,166.27	6.3	96.6	—
7月末	12,810	8.0	31,537.51	7.5	97.2	—
8月末	12,826	8.1	31,658.34	8.0	95.9	—
9月末	12,838	8.2	31,764.25	8.3	97.8	—
10月末	13,243	11.7	32,480.21	10.8	97.6	—
(期 末) 2014年11月7日	13,573	14.4	33,305.15	13.6	97.6	—

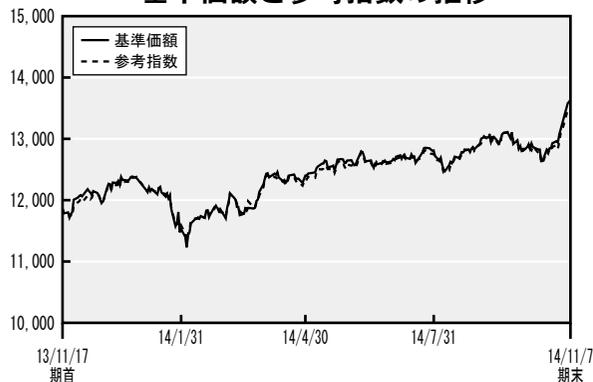
(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注3) 参考指数としてJPMorgan GBI-EM グローバル ダイバーシファイドを使用しています。基準日前営業日の米ドル建て指数を基準日の対顧客電信
売買相場仲値を用いて当社が独自に円換算しています。

当期の運用経過と今後の運用方針

基準価額と参考指数の推移



(注1) 参考指数は期首の値を基準価額と同値にして指数化しております。

(注2) 参考指数としてJPモルガン GBI-EM グローバル・ダイバーシファイドを使用しています。基準日前営業日の米ドル建て指数を基準日の対顧客電信売買相場仲値を用いて当社が独自に円換算しています。

基準価額の推移

基準価額は期首比14.4%の上昇となりました。

基準価額の変動要因

- 新興国現地通貨建て債券（現地通貨ベース）の高水準なインカム収入
 - ・米国の量的緩和政策の縮小開始による市場への影響が懸念されたことや、1月下旬にかけては中国のシャドーバンキング問題が不安視されたことや一部新興国市場の混乱、またその後は、ウクライナや中東情勢など地政学的リスクへの懸念を背景に、不安定な推移となる局面があったものの、景気の下振れリスクに対して一部の新興国が利下げを行ったことや、ECB（欧州中央銀行）や日本銀行による緩和的な金融政策の長期化等を背景に、新興国現地通貨建て債券は概ね上昇傾向で推移しました。代表的市場インデックスであるJPモルガン GBI-EM グローバル・ダイバーシファイド（現地通貨ベース）の当該期間のリターンは+7.4%となりました。

○新興国通貨は米ドルに対して下落

- ・新興国通貨は、1月下旬にアルゼンチン・ペソが急落したことなどをきっかけに新興国市場に対する懸念が高まったことや、米国において量的緩和政策が段階的に縮小される中、特に9月以降は、2015年の利上げ開始が強く意識されたことで米ドル高が進行したため、新興国通貨は対米ドルで $\Delta 9.3\%$ の下落となりました。JPモルガン GBI-EM グローバル・ダイバーシファイド（米ドルベース）は、新興国債券市場（現地通貨ベース）が上昇したものの、通貨が下落したことが背景となり、期首比 $\Delta 2.6\%$ となりました。

○米ドル／円は上昇

- ・米ドル／円は、12月末にかけて、量的緩和政策の縮小開始が決定されたことを背景に円安米ドル高となりました。その後はしばらくの間、1米ドル=102円前後の比較的狭いレンジでの推移が続いたものの、8月中旬に公表されたFOMC（米連邦公開市場委員会）議事録において労働市場の改善が予想以上に進展した場合、利上げ開始時期が前倒しされる可能性が示唆されたことや、9月上旬以降はFRB（連邦準備制度理事会）高官等の発言を受けてこれまで以上に2015年の利

上げ開始が意識されたこと、10月末に日本銀行が予想外の追加金融緩和を決定したことを背景に、大幅な円安米ドル高となりました。当該期間通期では、米ドルの対円でのリターンは+16.8%（円安）となり、新興国通貨の対円でのリターンは+5.2%（円安）となりました。

◆ 資産別組入比率の推移

- ・安定した配当等収益の確保と投資信託財産の長期的な成長を図ることを目的として、新興国10カ国の国債など（クレジット・リンク・ノートを含む）を高位に組み入れました。

◆ 国別配分戦略

- ・欧州・中東・アフリカ地域では、①財政状況が比較的健全で、インカム・ゲインが高いトルコ、②経常収支が改善傾向にあり、直接投資等による資金フローが堅調なポーランドなどへの投資を継続しました。③その一方で、ロシアについては、地政学的リスクの高まりを受けファンダメンタルズの不透明感や通貨のボラティリティの上昇が懸念されたため、売却を行いました。
- ・中南米地域では、①最大貿易相手国である米国景気の改善傾向に加え、構造改革の進展が期待されるメキシコ、②相対的に利回りが高いことに加え、当局の為替政策によって通貨のボラティリティが抑制されると期待されたブラジルなどへの投資を継続しました。③また、国内景気が堅調で、直接投資などの資本流入が続いており、利上げ期待が高かったコロンビアへの投資を新たに行いました。
- ・アジアでは、新政権による構造改革の進展の可能性が期待されていることに加え、低い公的債務比率、高い経済成長率、潤沢な外貨準備高などを背景に投資適格級の格付けを取得しているインドネシアに引き続き投資しております。

◆ 金利戦略

- ・イールドカーブが概ねスティープな状態にある一方で、インフレ圧力が比較的抑制されていることを背景に、メキシコなどについては、リスク・プレミアムの観点から魅力的である長期債セクターを中心に投資しました。

◀ 今後の運用方針 ▶

◆ 運用環境の見通し

- ・グローバル経済については、緩やかな景気回復が持続しています。特に米国においては、失業率の低下など労働市場の緩やかな改善が継続しており、経済に対する見通しは比較的明るく、景気回復が継続すると考えています。
- ・新興国については、中間層、富裕層の拡大を通じた消費市場の成長が見込めることから、相対的に高い経済成長の継続が期待されます。一方、投資家の新興国に対する選別姿勢が強まる中、經常収支などの経済ファンダメンタルズの脆弱な国や、財政基盤の脆弱な国、政治基盤が不安定な国のボラティリティが高まるリスクなどには注視が必要です。
- ・金融政策に関しては、米国においてFRBは先進国の中では比較的早い段階で利上げに転換すると思われる一方で、特に日本銀行やECBによる緩和的な金融政策の長期化が見込まれており、世界的にインフレリスクが抑制されていることから、主要中央銀行が積極的な金融引き締めへ転換する可能性は低いと考えられます。
- ・このような環境下、現地通貨建て新興国債券市場については、経済ファンダメンタルズを反映する形で回復が継続すると考えられ、引き続き割安な投資対象であると考えています。

◆ 今後の運用方針

- ・新興国の現地通貨建て債券に投資し、安定した配当収益等の確保と長期的な成長をめざします。

売買および取引の状況

(2013年11月8日から2014年11月7日まで)

公社債

		買付額	売付額
外	メキシコ 国債証券	千メキシコペソ —	千メキシコペソ 39,462
	ブラジル 国債証券	千ブラジルレアル 18,488	千ブラジルレアル 24,808
	チリ 国債証券	千チリペソ —	千チリペソ 926,295
	コロンビア 国債証券	千コロンビアペソ 4,260,354	千コロンビアペソ —
	ペルー 国債証券	千ペルーヌエボソル —	千ペルーヌエボソル 5,713
トルコ 国債証券	千トルコリラ —	千トルコリラ 5,559	

		買付額	売付額
外 国	ハンガリー 国債証券	千ハンガリーフォリント —	千ハンガリーフォリント 171,064
	ポーランド 国債証券	千ポーランドズロチ —	千ポーランドズロチ 12,620
	ロシア 国債証券 特殊債券	千ロシアルーブル —	千ロシアルーブル 5,460
		—	—
	南アフリカ 国債証券	千南アフリカランド —	千南アフリカランド 34,202

(注1) 金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注2) 単位未満は切捨て。

組入資産の明細

(2014年11月7日現在)

公社債

(A) 外国(外貨建) 公社債の種類別開示

区分	額面金額	当 期		末				
		評 価 額		組入比率	うちBB格 以下組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
メキシコ	千メキシコペソ 48,550	千メキシコペソ 53,626	千円 452,074	% 10.2	% —	% 10.2	% —	% —
ブラジル	千ブラジルレアル 13,630	千ブラジルレアル 12,963	580,637	13.1	—	—	13.1	—
チリ	千チリペソ 1,212,000	千チリペソ 1,274,066	247,933	5.6	—	5.6	—	—
コロンビア	千コロンビアペソ 4,700,000	千コロンビアペソ 4,216,840	231,082	5.2	—	5.2	—	—
ペルー	千ペルーヌエボソル 7,890	千ペルーヌエボソル 8,910	349,931	7.9	—	—	7.9	—
トルコ	千トルコリラ 10,325	千トルコリラ 11,223	569,805	12.9	—	12.9	—	—
ハンガリー	千ハンガリーフォリント 468,000	千ハンガリーフォリント 511,372	235,180	5.3	—	—	5.3	—
ポーランド	千ポーランドズロチ 13,433	千ポーランドズロチ 14,934	503,892	11.4	—	—	11.4	—
インドネシア	千インドネシアルピア 54,500,000	千インドネシアルピア 62,727,320	595,909	13.5	—	—	13.5	—
南アフリカ	千南アフリカランド 53,405	千南アフリカランド 53,352	545,797	12.4	—	12.4	—	—
合 計	—	—	4,312,245	97.6	—	46.3	51.3	—

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 単位未満は切捨て。

(注4) 一印は組入れなし。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国 (外貨建) 公社債の詳細開示 (個別銘柄別)

銘柄	種類	利率	額面金額	期末		償還年月日
				評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(メキシコ) MEXICO	国債証券	% 7.5	千メキシコペソ 48,550	千メキシコペソ 53,626	千円 452,074	2027/6/3
小計	—	—	48,550	53,626	452,074	—
(ブラジル) BRAZIL	国債証券	10.0	千ブラジルレアル 13,630	千ブラジルレアル 12,963	580,637	2017/1/1
小計	—	—	13,630	12,963	580,637	—
(チリ) CHILE	国債証券	5.5	千チリペソ 1,212,000	千チリペソ 1,274,066	247,933	2020/8/5
小計	—	—	1,212,000	1,274,066	247,933	—
(コロンビア) COLOMBIA	国債証券	4.375	千コロンビアペソ 4,700,000	千コロンビアペソ 4,216,840	231,082	2023/3/21
小計	—	—	4,700,000	4,216,840	231,082	—
(ペルー) PERU	国債証券	8.6	千ペルーヌエボソル 7,890	千ペルーヌエボソル 8,910	349,931	2017/8/12
小計	—	—	7,890	8,910	349,931	—
(トルコ) TURKEY	国債証券	10.5	千トルコリラ 10,325	千トルコリラ 11,223	569,805	2020/1/15
小計	—	—	10,325	11,223	569,805	—
(ハンガリー) HUNGARY	国債証券	6.75	千ハンガリーフォリント 468,000	千ハンガリーフォリント 511,372	235,180	2017/2/24
小計	—	—	468,000	511,372	235,180	—
(ポーランド) POLAND POLAND	国債証券	3.75 5.5	千ポーランドズロチ 6,253 7,180	千ポーランドズロチ 6,613 8,320	223,152 280,739	2018/4/25 2019/10/25
小計	—	—	13,433	14,934	503,892	—
(インドネシア) DEUTSCHE BANK AG REGS	普通社債券	11.5	千インドネシアルピア 54,500,000	千インドネシアルピア 62,727,320	595,909	2019/9/23
小計	—	—	54,500,000	62,727,320	595,909	—
(南アフリカ) SOUTH AFRICA	国債証券	7.25	千南アフリカランド 53,405	千南アフリカランド 53,352	545,797	2020/1/15
小計	—	—	53,405	53,352	545,797	—
合計	—	—	—	—	4,312,245	—

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

投資信託財産の構成

2014年11月7日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 4,312,245	% 96.7
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	146,331	3.3
投 資 信 託 財 産 総 額	4,458,576	100.0

(注1) 当期末における外貨建純資産(4,458,331千円)の投資信託財産総額(4,458,576千円)に対する比率は100.0%です。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2014年11月7日における邦貨換算レートは、1米ドル=115.06円、1メキシコペソ=8.43円、1ブラジルレアル=44.79円、100チリペソ=19.46円、100コロンビアペソ=5.48円、1ペルーヌエボソル=39.27円、1トルコリラ=50.77円、100ハンガリーフォリント=45.99円、1ポーランドズロチ=33.74円、100インドネシアルピア=0.95円、1南アフリカランド=10.23円です。

資産、負債、元本および基準価額の状況

2014年11月7日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	4,587,865,131円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	182,029
公 社 債(評価額)	4,312,245,822
未 収 入 金	172,209,458
未 収 利 息	101,622,483
前 払 費 用	1,605,339
(B) 負 債	168,971,537
未 払 金	129,311,539
未 払 解 約 金	39,659,998
(C) 純 資 産 総 額(A - B)	4,418,893,594
元 本	3,255,642,935
次 期 繰 越 損 益 金	1,163,250,659
(D) 受 益 権 総 口 数	3,255,642,935口
1万口当たり基準価額(C/D)	13,573円

損益の状況

(2013年11月8日から2014年11月7日まで)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	404,529,323円
受 取 利 息	404,529,323
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	265,922,330
売 買 益	410,157,855
売 買 損	△ 144,235,525
(C) 信 託 報 酬 等	△ 9,873,990
(D) 当 期 損 益 金(A + B + C)	660,577,663
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	1,001,144,775
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 498,471,779
(G) 計 (D + E + F)	1,163,250,659
次 期 繰 越 損 益 金(G)	1,163,250,659

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等は、外貨建資産の保管に係る費用等です。

(注3) 損益の状況の中で(F)解約差損益金は、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

(貸借対照表関係)

期首元本額	5,380,871,048円
期中追加設定元本額	—円
期中一部解約元本額	2,125,228,113円
期末における元本の内訳	
モルガン・スタンレー 新興国現地通貨建債券ファンド F (適格機関投資家専用)	3,255,642,935円
期末元本額合計	3,255,642,935円

マネー・マーケット・マザーファンド

《第20期》決算日2014年11月20日

[計算期間：2014年5月21日～2014年11月20日]

「マネー・マーケット・マザーファンド」は、11月20日に第20期の決算を行いました。

以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第20期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	わが国の短期公社債等を中心に投資し、利子等収益の確保を図ります。なお、市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。
主要運用対象	わが国の公社債等を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資は行いません。

当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額 騰 落 率	債券組入比率	債券先物比率
(期 首) 2014年5月20日	円 10,180	% 84.7	% —
5月末	10,180	0.0	—
6月末	10,181	0.0	—
7月末	10,181	0.0	—
8月末	10,181	0.0	—
9月末	10,182	0.0	—
10月末	10,182	0.0	—
(期 末) 2014年11月20日	10,183	0.0	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは主として短期債券、コール・ローンなどによる運用を行い、安定的な収益の確保をめざすファンドであり、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率-売建比率。

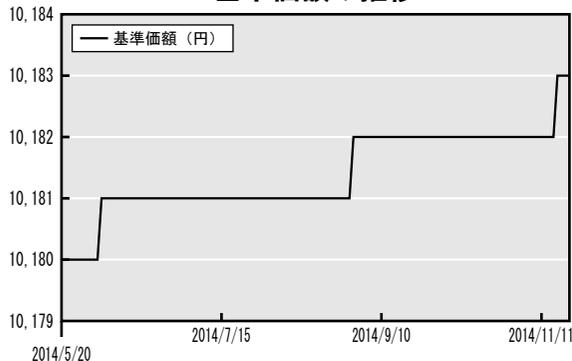
(注) 純資産総額は、期首2,716百万円、期末2,373百万円。

当期の運用経過

◆ 基準価額の推移

基準価額は期首に比べ0.03%の上昇となりました。

基準価額の推移



◆ 基準価額の変動要因

- ・当期の短期金融市場を見ると、日銀は「量的・質的金融緩和」をめざし、マネタリーベースを操作目標として金融市場調節を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）は安定的に推移し、2014年11月20日のコール・レートは0.066%となりました。なお、日銀は10月31日にマネタリーベース増加額および資産買入れ額の拡大などの「量的・質的金融緩和」の拡大を決定しました。
- ・コール・ローン等短期金融商品を活用しつつ、残存期間の短い国債を中心に組み入れ、利子等収益の確保を図りました。

今後の運用方針

◆ 運用環境の見通し

- ・国内景気は緩やかな回復局面に向かうものと思われませんが、デフレ脱却に向けて日銀は「量的・質的金融緩和政策」を当面維持

することが見込まれます。そうした環境下、短期金利は低位安定推移になると予想しています。

◆ 今後の運用方針

- ・運用の基本方針および前述の見通しに基づき、引き続き残存期間の短い国債を中心に投資し安定した収益の確保をめざしていく方針です。

1 万口（元本10,000円）当たりの費用の明細

当期中に発生した費用はありません。

売買および取引の状況 (2014年5月21日～2014年11月20日)

公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	国債証券	4,660,168	559,994 (4,400,000)

(注) 金額は受渡代金。(経過利子は含まれておりません。)

(注) () 内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

組入資産の明細

国内公社債

(A) 国内（邦貨建）公社債の種類別開示

区分	当			期			末		
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格 以下組入比率	残存期間別組入比率				
					5年以上	2年以上	2年未満		
	千円	千円	%	%	%	%	%		
国債証券	2,000,000 (1,350,000)	2,000,418 (1,350,056)	84.3 (56.9)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	84.3 (56.9)	
合計	2,000,000 (1,350,000)	2,000,418 (1,350,056)	84.3 (56.9)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	84.3 (56.9)	

(注) () 内は非上場債で内書き。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) 現先の組み入れがある場合、現先は国債証券に含めて記載。

(B) 国内（邦貨建）公社債の詳細開示（個別銘柄別）

2014年11月20日現在

種類	銘柄名	利率	額面金額	評価額	償還年月日	
		%	千円	千円		
国債証券	第475回国庫短期証券	—	200,000	199,999	2014/11/25	
	第476回国庫短期証券	—	200,000	199,999	2014/12/1	
	第479回国庫短期証券	—	150,000	149,999	2014/12/15	
	第481回国庫短期証券	—	200,000	199,999	2014/12/22	
	第482回国庫短期証券	—	100,000	100,001	2015/1/8	
	第486回国庫短期証券	—	100,000	99,999	2014/12/3	
	第490回国庫短期証券	—	100,000	100,006	2015/2/9	
	第492回国庫短期証券	—	100,000	100,008	2015/2/16	
	第493回国庫短期証券	—	200,000	200,041	2015/2/23	
	第326回利付国債（2年）	0.1	200,000	200,060	2015/3/15	
	第327回利付国債（2年）	0.1	100,000	100,038	2015/4/15	
	第331回利付国債（2年）	0.1	200,000	200,144	2015/8/15	
	第332回利付国債（2年）	0.1	150,000	150,120	2015/9/15	
	合計			2,000,000	2,000,418	

投資信託財産の構成

2014年11月20日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	2,000,418	84.3
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	372,977	15.7
投 資 信 託 財 産 総 額	2,373,395	100.0

資産、負債、元本および基準価額の状況

2014年11月20日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	2,373,395,647円
コール・ローン等	372,850,572
公社債(評価額)	2,000,418,450
未 収 利 息	78,819
前 払 費 用	47,806
(B) 負 債	869
未 払 解 約 金	869
(C) 純資産総額(A-B)	2,373,394,778
元 本	2,330,826,446
次期繰越損益金	42,568,332
(D) 受 益 権 総 口 数	2,330,826,446口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,183円

損益の状況

(2014年5月21日~2014年11月20日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	520,435円
受 取 利 息	520,435
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	40,329
売 買 益	131,700
売 買 損	△ 91,371
(C) 当期損益金(A+B)	560,764
(D) 前期繰越損益金	48,112,637
(E) 追加信託差損益金	26,511,377
(F) 解約差損益金	△32,616,446
(G) 計 (C+D+E+F)	42,568,332
次期繰越損益金(G)	42,568,332

- (注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注) (E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注) (F) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

〈注記事項〉

①期首元本額	2,668,018,452円	
期中追加設定元本額	1,459,518,984円	
期中一部解約元本額	1,796,710,990円	
②期末における元本の内訳 (当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)		
三菱UFJ DC金利連動アロケーション型バランスファンド		245,571,395円
三菱UFJ 新興国通貨建て債券ファンド (毎月決算型)		5,226,135円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)		22,407,722円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)		2,727,794円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ユーロコース> (毎月分配型)		170,286円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)		126,013,765円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルレアルコース> (毎月分配型)		231,818,919円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<南アフリカランドコース> (毎月分配型)		429,650円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)		11,926,122円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>		679,345,083円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<中国元コース> (毎月分配型)		197,649円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<インドネシアルピアコース> (毎月分配型)		1,799,230円
ブラデスコ ブラジル成長株オープン・マネーボール・ファンド		3,156,423円
米国ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)		248,106円
米国ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)		712,999円
米国ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルレアルコース> (毎月分配型)		1,490,575円
米国ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<新興国バスケット通貨コース> (毎月分配型)		446,819円
米国ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>		2,188,822円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース> (毎月分配型)		614,937円
PIMCO ニューワールド円インカムファンド (毎月分配型)		68,417,834円
PIMCO ニューワールド米ドルインカムファンド (毎月分配型)		3,558,532円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース> (毎月分配型)		35,941,494円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<ブラジルレアルコース> (毎月分配型)		938,449円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)		358,088円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)		2,100,667円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<ブラジルレアルコース> (毎月分配型)		3,836,590円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース> (毎月分配型)		1,787,931円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>		8,737,199円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)		40,480,808円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)		13,108,332円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)		4,071,402円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルレアルコース> (毎月分配型)		68,076,479円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース> (毎月分配型)		757,771円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<アジアバスケット通貨コース> (毎月分配型)		1,232,040円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>		138,108,832円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)		2,221,253円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<ユーロコース> (毎月分配型)		2,971,153円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)		2,576,702円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルレアルコース> (毎月分配型)		3,148,614円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース> (毎月分配型)		67,305円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>		13,171,200円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム (毎月分配型)		78,483,503円
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジあり)		3,143,477円
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジなし)		2,669,954円
新興国ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジあり)		10,889円
新興国ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジなし)		20,706円
三菱UFJ 米国リートファンドA<為替ヘッジあり> (毎月決算型)		491,836円
三菱UFJ 米国リートファンドB<為替ヘッジなし> (毎月決算型)		98,368円
三菱UFJ/UBS グローバル好利回りCBファンド2012-11 (円ヘッジ) (限定追加型)		10,816,126円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<メキシコペソコース> (毎月分配型)		89,100,298円
PIMCO ニューワールド円インカムファンド (年2回分配型)		266,340円
PIMCO ニューワールド米ドルインカムファンド (年2回分配型)		472,643円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース> (年2回分配型)		40,301円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<ブラジルレアルコース> (年2回分配型)		20,637円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<メキシコペソコース> (年2回分配型)		2,438,810円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)		7,176,471円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)		1,071,498円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)		19,658円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)		19,658円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)		19,658円
三菱UFJ 米国高配当株式プラス<為替ヘッジあり> (毎月決算型)		491,449円

三菱UFJ 米国高配当株式プラス<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	9,828,976円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	19,255,183円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	554,804円
バリュー・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型> (毎月決算型)	1,936,118円
バリュー・ボンド・ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	9,829円
バリュー・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型> (年1回決算型)	9,829円
バリュー・ボンド・ファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	9,829円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)	15,049,666円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)	20,551,717円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)	3,730,759円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (毎月分配型)	5,059,469円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)	5,519,741円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	536,847円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ロシアルーブルコース> (毎月分配型)	470,711円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (年2回分配型)	3,737,703円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (年2回分配型)	6,435,081円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (年2回分配型)	303,811円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (年2回分配型)	627,788円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (年2回分配型)	608,110円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (年2回分配型)	46,726円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ロシアルーブルコース> (年2回分配型)	100,461円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<マネープールファンドA>	1,475,717円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<マネープールファンドB>	980,118円
三菱UFJ/ビムコ トータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型> (毎月決算型)	1,423,307円
三菱UFJ/ビムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	3,270,787円
三菱UFJ/ビムコ トータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型> (年1回決算型)	1,168,184円
三菱UFJ/ビムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	2,065,331円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Cコース (為替ヘッジなし) (年1回決算型)	983円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Dコース (為替ヘッジあり) (年1回決算型)	983円
三菱UFJ/UBS グローバル好利回りCBファンド2013-11 (円ヘッジ) (限定追加型)	982,608円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジあり> (毎月分配型)	2,827,156円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジなし> (毎月分配型)	9,387,547円
米ドル建て担保付貸付債権オープン<為替ヘッジあり> (3ヵ月決算型)	3,445,331円
三菱UFJ/ビムコ トータル・リターン・ファンド2014	256,356円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	3,545,187円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	8,124,755円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり> (年1回決算型)	2,990,177円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	3,377,211円
PIMCO インカム戦略ファンド<円インカム> (毎月分配型)	151,268円
PIMCO インカム戦略ファンド<円インカム> (年2回分配型)	41,258円
PIMCO インカム戦略ファンド<米ドルインカム> (毎月分配型)	633,556円
PIMCO インカム戦略ファンド<米ドルインカム> (年2回分配型)	235,745円
PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	1,565,662円
PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	320,205円
三菱UFJ/AMP オーストラリア・ハイインカム債券ファンド 豪ドル円プレミアム (毎月決算型)	25,537,767円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 米ドル円プレミアム (毎月分配型)	18,797,761円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 米ドル円プレミアム (年2回分配型)	3,312,052円
Navio インド債券ファンド	885,566円
Navio マネープールファンド	3,999,901円
三菱UFJ インド債券オープン (毎月決算型)	39,351円
バンクローンファンドUSA (為替ヘッジあり) 2014-08	11,276,260円
マネープールファンド (FOFs用) (適格機関投資家限定)	116,474円
MUAMトビックスリスクコントロール (5%) インデックスファンド (FOFs用) (適格機関投資家限定)	124,156,095円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Aコース (為替ヘッジなし)	16,982,851円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Bコース (為替ヘッジあり)	34,396,392円
合計	2,330,826,446円